

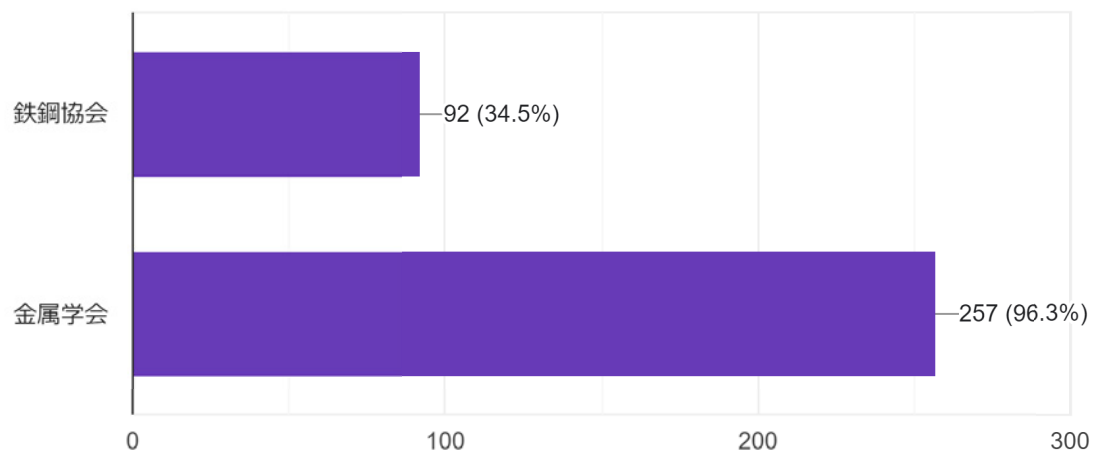
託児所アンケート 集計結果

男女共同参画委員会

2023.10.02

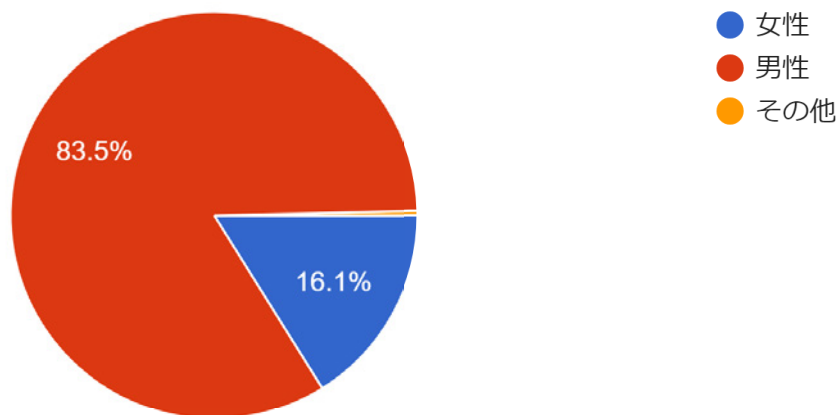
所属学会（複数選択可）

267 件の回答



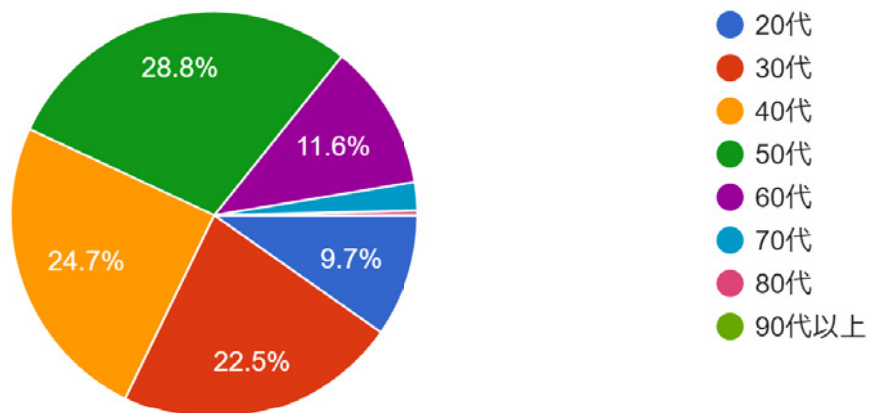
性別

267 件の回答



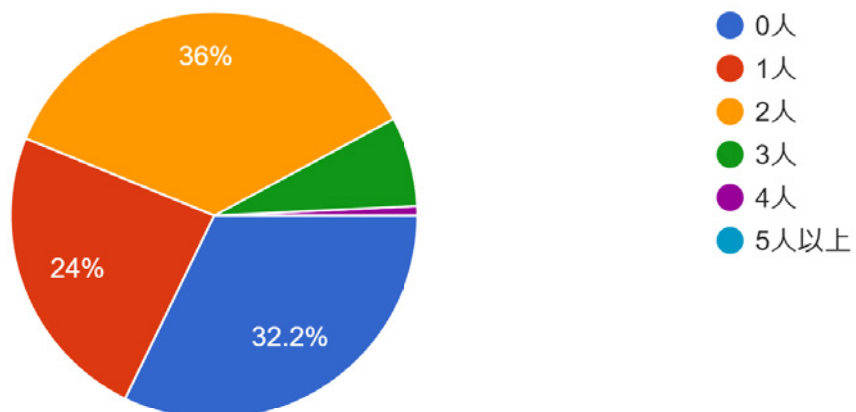
年代

267 件の回答



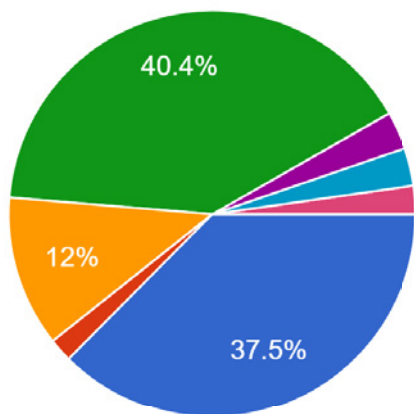
お子様の数

267 件の回答



所属

267 件の回答



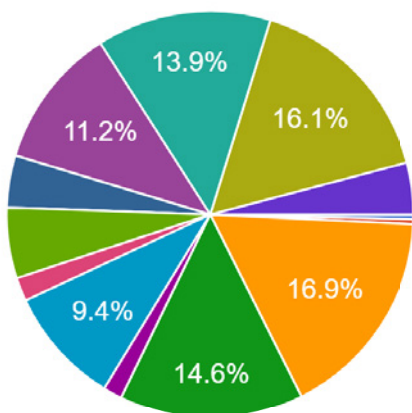
- 大学
- 高専
- 国公立研究機関
- 企業
- 民間研究機関
- 学生
- その他

その他内訳

- ・ なし
- ・ 学協会
- ・ 名誉教授
- ・ 警察
- ・ 元 日立金属

職位の入力をお願いします。

267 件の回答



- 総長・学長相当
- 理事相当
- 教授相当
- 准教授相当
- 講師相当
- 助教相当
- ポスドク相当
- 学生

- 社長相当
- 取締役相当
- 部長相当
- 課長相当
- 一般社員
- その他

その他内訳

- ・ なし
- ・ 任期性職員
- ・ シニアアドバイザー
- ・ 非常勤講師
- ・ 上席研究員
- ・ 名誉研究員
- ・ アドバイザー
- ・ 室長相当
- ・ 名誉研究員
- ・ 定年退職再雇用
- ・ シニアエキスパート

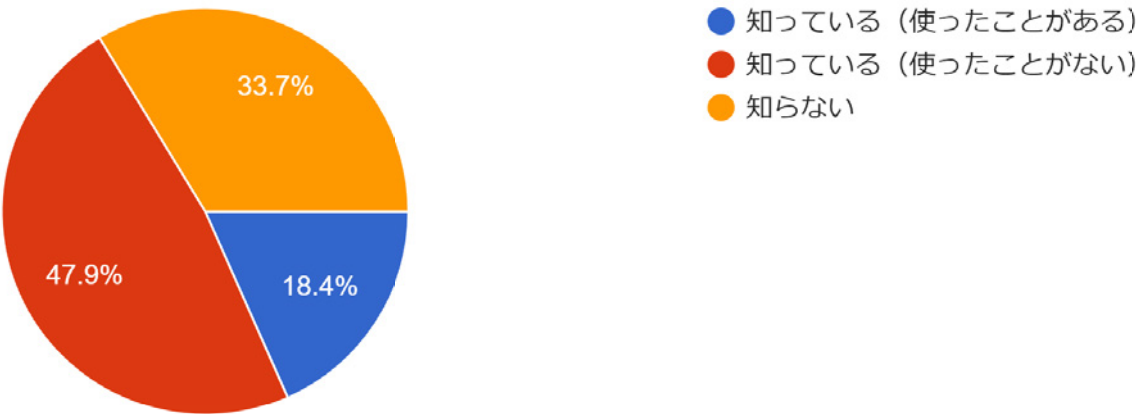
▲ 1/2 ▼

▲ 2/2 ▼

男女共同参画委員会が設置に関与している、講演大会における学会託児所についてお尋ねします 1, 2

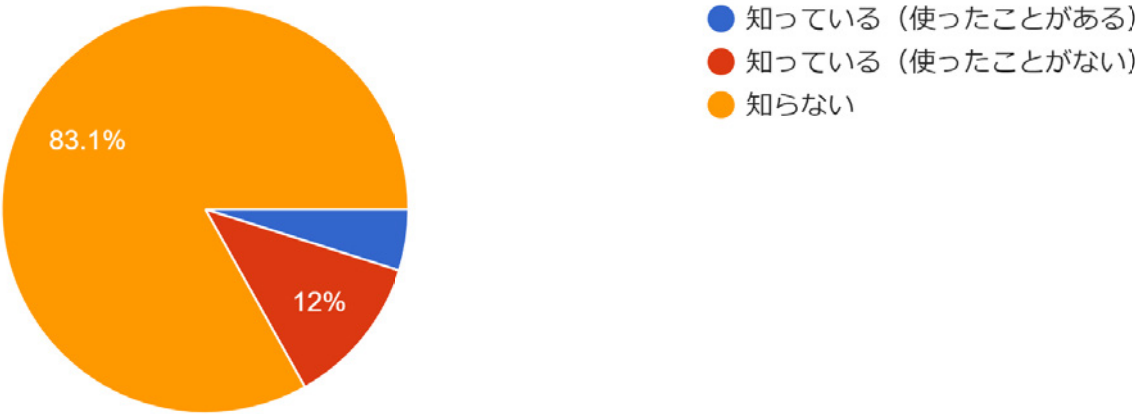
講演大会で 学会託児所が設置されているのはご存知ですか？

267 件の回答



学会託児所の子供1人、1日あたりの利用料金は以下と...学生を含む）：1500円・0歳～2歳：2000円

267 件の回答



男女共同参画委員会が設置に関与している、講演大会における学会託児所についてお尋ねします 3

学会託児所に関する情報はWebの講演大会のページに記載があります。それをご存知でしたか？

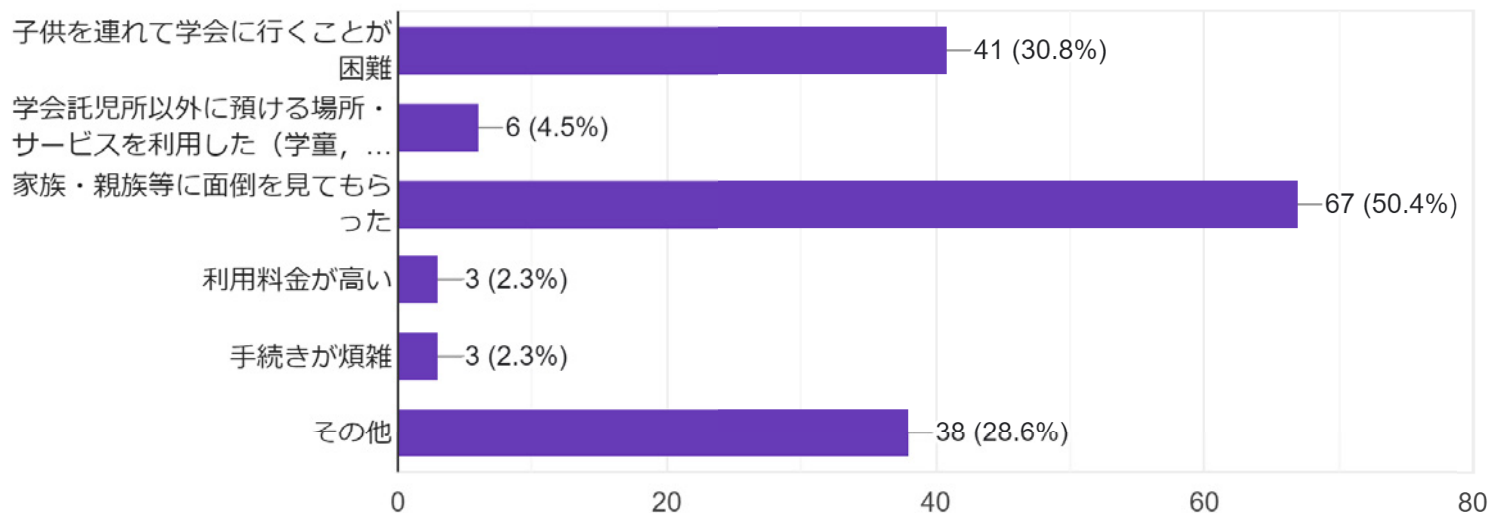
267 件の回答



講演大会の学会託児所の詳細に関して 1

学会託児所の存在を知っており、かつ、子供がい...ず、利用経験の無い方は理由を教えてください。

133 件の回答



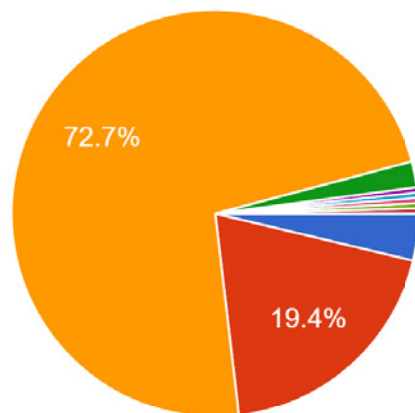
講演大会の学会託児所の詳細に関して 1 (その他)

- すでに大きくなっているから、学生だから（合計12）
- 子供不在 （合計5）
- 成人している （合計2）
- 学校を休ませるわけにはいかない、小学校が休みの時期ではない（合計2）
- 昔はなかった。
- 子供が産まれたばかりなため。
- 利用しようと思っていたが、申し込み〆切を過ぎていた
- 子供の旅費が高いため
- 子どもを連れて行く必要がないため
- 講演大会に参加する機会がなかった
- 妻が専業主婦であり、必要がなかったため
- 子供が小さい頃にこういったサービスがあれば利用していたかもしれません。
- 最近、出産したため

講演大会の学会託児所の詳細に関して 2

今後、学会託児所を利用したいですか？

242 件の回答



- 利用経験があり、今後、学会託児所を利用したい
- 利用経験は無いが、今後、学会託児所...
- 利用の予定はない
-
- 必要になれば利用したい
- 子供が大きくなったので利用予定はあ...
- 子を授かればあるいは。。。。
- 子どもが成長したので利用する必要が...
- 妻の都合悪くどうしても学会に参加し...

講演大会の学会託児所の詳細に関して 2 (その他)

- 必要になれば利用したい
- 必要だと思う。
- 子供がいないので、今のところ予定はない。
- 託児所を利用する年齢ではなくなったため
- 既に子供が大きくなったので今後利用することはないが、かつては利用していたし、有難かった。
- 子供が成長したため利用の予定はない。
- **20年以上前**、就学前の娘に対し、別の学会の学会託児所を利用したことがあります。給食サービスがなかったり年齢制限（就学前か**3年生**まで）があったりで、利用がしずらい条件だったようで、結局、期間中利用したのは、私一人でした。開設しただけで終わらず、サービスの見直しなどもしてほしいと思います

講演大会の学会託児所の詳細に関して 3

今後、学会託児所とは別に、学会のベビーシッター補助があれば利用しますか？

241 件の回答



講演大会の学会託児所の詳細に関して 3 (その他)

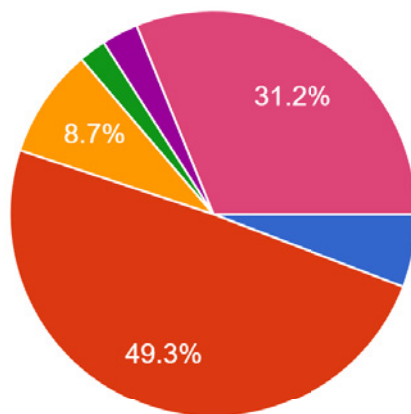
- 必要になれば利用したい
- 子供がいないので、今のところ予定はない。
- ベビーシッターを頼んでみたかったが、パートナーが前向きでなかったため使うことはなかった。子供が学校に行くようになったり、複数になると学会託児よりは家において行くようになり、その際は義母に来てもらい、自宅で留守番をしてもらっていた。義母に来てもらえない時は、小学生は自宅にいて、未就学児は学会託児を利用するなどして何とかやり過ごすことが出来た。
- 子供が成長したため利用の予定はない。
- 滞在ホテルで自費でシッターを雇ったこともありますが、高額になる割に、質は良くなりにくいと思います。学会託児所でサービス内容を見直す方が、子供のためになるように思います。
- 自宅で利用できるもしくは滞在先のホテルで利用できるなら利用したい。ただし、子供が小学生なので、乳幼児のケアというよりも小学生の応対、食事などの対応が可能であれば。

講演大会の学会託児所の詳細に関して 3 (その他)2

- 子供が小さく託児所への預け入れが難しいので、ベビーシッターを利用できると大変ありがたい。ただ現状でも多くの補助制度があり、学会のベビーシッター補助を受けてしまうと、それ以外の大きな補助（例えば、東京都の年**144**時間の補助など）を受ける際に、助成額を大きく減額されたり、区役所に訪問して煩雑な手続きをしなければいけなくなってしまう。区役所での拘束時間の方が長くなると本末転倒なので、他の助成制度への影響をよく検討して欲しい。例えば自分の場合は、自治体からの補助（東京都ベビーシッター利用支援事業）、文科省共済からの補助（すくすくえいど）、大学からの補助（内閣府ベビーシッター派遣事業）、工学部からの補助（工学部ベビーシッター派遣支援）の**4**つを利用しているので、これらに影響が出ないのであれば利用したい。えらべる倶楽部、リロクラブ、**WELLBOX**を利用している方も多いと思う。区役所や共済が併用可能と答えても、事業者側で**NG**が出るケースも多くあるので、よく使用される事業者（ポピンズケア、ポピンズシッター、キッズライン、ミラクスなど）について、各種補助と併用できるか確認することも必要だと思う。

講演大会の学会託児所の詳細に関して 4

学童まで（
小学生以下）のお子様がいる会員にお尋ねします...どなたがどこでお子さんの面倒をしていますか？
138 件の回答



- 夫（自宅）
- 妻（自宅）
- 自分もしくは配偶者の親（自宅または子供の祖父母宅で世話）
- ベビーシッターなど外部サービス（自宅で世話）
- 自分（講演大会開催地に同伴）
- 家族（講演大会開催地に同伴）
- その他

講演大会の学会託児所の詳細に関して 4 (その他)

- 子どもはいない (合計11),
- 学童まで（小学生以下）の子供はいない(合計12)
- 私は、すでに子育て等々は卒業してしまったので、もしも、私が子育てしていた当時に、貴学会のような手厚いご対応（託児サービス等）があれば、助かったと考えます。当時を振り返りますと、育児のために学会等々への参加は難しかったと思います。その時だけ外部サービスを利用するのも、（子どもが人見知りしたりする場合など）難しいところがあるかと考えます。一緒に生活している配偶者・家族が協力するのが、ストレスフリーではないでしょうか？と考えます。
- 子供が産まれたばかりのため、これまで託児の経験はありませんが、夫婦で研究者のため学会シーズンが重なるうえ、祖父母は遠方で暮らしていることから学会中の託児が問題になることが予想されます。託児所設置と補助は、特に女性研究者の育休復帰後の研究活動に対して、大変な後押しになると思います。

講演大会の学会託児所の詳細に関して 4 (その他)

- 講演大会に参加できていない
- 学会は平日なので、幼稚園または保育園、その後は仕事を終えた配偶者が見る
- 日帰り出張して、その間は保育園
- 夫と同伴、半々程度。

意見・コメント

今後、学会託児所やベビーシッター等に関して、男女共同参画委員会に希望することがあれば教えてください。1

- 子供の面倒を見てくれるサービスがあるのは助かります。
- 託児所、ベビーシッター、その他、と選択肢が増えることは良いことだと思う。選択肢が多様であることはありがたい。一方で、自分が実際学会託児所を利用するかということ、おそらくしないと思う。出張先の学会会場まで事前に子供と移動して、そこで子供を預ける、というのは現実的ではない気がします。
- 小学校入学前の託児であれば、年齢が大きくなってからの子供と赤ちゃんと同時に預けられると、退屈過ぎてちゃんと過ごしてくれない問題があった。3歳以上と3歳未満で分けて託児してくれると有難い。小学生に関しては学校が休みでない期間に学会がある為、子供を残して出席せざるを得ない。自分が留守の場合にお世話や食事を頼むシッターへのサポートが有難い。
- 託児所などがあることは良いことと思います。ただし、利用状況によりますが。
- 検討して積極的に推進してください
- 私は40代で子供もいないが、若い世代の学会参加を促すようなことを積極的にした方が良いと考えています。

- 学会託児所はあった方が良くと思っています。学会託児所を利用して学会に参加されている方は現在どのくらいいるのでしょうか？要望がないようであれば運営を検討ください。
- 託児中の子供の昼食も提供してほしい
- これまで何度か利用させていただきました。心より感謝申し上げます。託児場所は臨時に設置されている場合が多かったです。託児場所をご提供頂いていることに感謝しつつも、子供には申し訳ない気持ちがありました。できれば、大学等の学会会場に常設の託児場所があると安心して預けられます。
- 学会託児所やベビーシッターの取り組みは大変重要だと思いますので続けて頂きたいと思います。
- 対象となる方が使いやすい制度であれば良いと思います。
- 難しいとは思いますが、懇親会のような夜の時間も託児所、シッターいずれでもよいので保育があると大変有難い。
- 補助があれば助かる

- 学会託児所を利用したことがあり、今後も是非とも利用させていただきたいと考えています。利用料金も安価で、非常に助かっています。
- たとえ利用人数が少なくとも、継続して実施していくことが重要かと思います
- 通常でも出張などがあれば、各家庭でケースバイケースで対応しているので、学会開催中の子供の世話に関するニーズはかなり少ないと思う。規模が小さくとも、実施に無理がないのであれば、その仕組みで助かる方はいるかとも思うので、勇気をもって可否判断されれば良いかと存じます。
- とてもいい働きなので継続して頂きたい。
- 鉄鋼協会の講演大会のHPから託児所情報にはすぐたどり着けなかったもので、もう少し目立つようにしていただけたら幸いです

- 機会があれば是非利用したいと考えています。是非継続していただきたいです。
- 無料なら利用したい。
- 学会託児所の設置やベビーシッター補助については重要な案件だと思います。私自身は使用させていただく予定はありませんが、引き続き検討を進めていただきたいと思います。
- 学会託児所やベビーシッター等の取り組み，非常に良いと思います。ぜひ今後も良い方向に進めて頂ければと存じます。
- 将来的に無料として、社会全体で支える体制への移行が望ましいです
- 小さい子供の託児だけでなく、広報活動を兼ねて小中高生の子供を同伴するに足るイベントの開催はどうでしょうか？ポスター会場の見学や開催大学のラボツアーなど。

- 私自身は毎回大会に参加できているわけではないですが、参加時は利用しますのでぜひ継続してほしいです。
- 利用者を増やしたいのであれば、託児中に実験教室のような催しをすると、普段できない経験ができることから利用者増に繋がるのではないのでしょうか。
- 託児室について、申込み後に詳細が案内されるようになっているが、場所や利用可能な時間などの詳細をあらかじめ公開しておくべきだと思う。ただでさえ時間がとれないのに、電話やメールでの連絡が必要なことが多すぎる。1時間かけて子供を寝かしつけたと思ったらベビーシッターの会社からの電話で起こされたということが何度もあった。
- お子さんのいらっしゃる女性会員が利用し易い学会託児所になるよう努力をお願いしたい。
- 利用者がいないと難しいかもしれないが、学会託児所の案内を早く公開してほしい。
- 学会に子供を連れていく制度が職場にないため利用できない。
- 小さなお子さんがいらっしゃる方のためにも、是非こういった活動を継続してください。
- 先にも書きましたが、開設しましたで終わらないようにして欲しいです。

- 学会会場でのベビーシッターの利用には設備対応や収容人数に困難が生じることは容易に想像できます。可能であれば、学会会場に併設することにこだわらず、会場の近隣エリアでの一時預かり施設の利用に関する紹介という形式で対応することの可能性も検討してもらえればと思います。
- 幅広い方に学会へ参加して頂くためには、良い施策だと思います。
- 育児で現地に行けないという学会員がいるのは学会としても望ましくないので、聴講だけでも完全オンライン化ということも一案と思います。

意見・コメント

別件で、男女共同参画委員会に希望することや設問以外へのコメントがあれば教えてください。1

- 託児所よりは**Web**配信を拡充してもらった方が好ましい。
- 子育て世代の意見を多く集めてください。
- 依然として女性への家事育児負担が多い為、オンライン学会は自宅を離れられない兼業主婦には有難い。
- 女性の意見やニーズを吸い上げ、できる対応をしていく事が大切だと思います。
- 学会旅費の補助、学会のハイブリット開催か完全対面と完全オンライン形式の交互開催
- 環境に恵まれていたので個人的には託児所サービスを使ったことはありませんが、ぜひ小さいお子さんをお持ちの会員のために、今後も継続して託児所サービスを継続いただければと思います。海外と比較してまだ女性会員が少ないように思います。

- 託児所についてもともと存じてはありましたが、自分が当事者になって改めて金額などの詳細を知り頼もしく思っています。需要は確実にありますので、今後も続けていただければと思います。
- 子供がいない会員のケアも必要。
- ひょっとしてこのアンケートでの「子供」とは、**20歳未満**のことを指していたのでしょうか？ **20歳以上**の子供がいる場合に「その他」を選択して答えると、アンケートの意図と異なる回答になってしまっていないですか？
- 女性限定公募などの男女差別はやめてください。業績等で男女平等に評価すべきです。
- 講演大会のハイブリッド開催等で、出張しなくても参加できるようなことも選択肢として考えてほしい。

- 日本金属学会様へ 私たちは現在、**AI**技術の発展により、時代がさらに加速しているという状況下にあります。このような状況を考慮し、金属学会の発展と若い世代への魅力発信について意見を提出させていただきます。昭和時代の成功体験や価値観を重んじる年配の方々の意見も大切ですが、それだけでは時代の変化に対応できず、学会は衰退してしまう可能性があります。そのため、多様な年齢層の意見を取り入れ、時代に適応できる学会へと進化することが求められています。確かに、金属学会は進歩を遂げておりますが、その速度が遅いために、進歩が速い他の学会と比べて若い世代には魅力が伝わりにくい状況になっていると感じております。これを改善するためには、若い世代に対して金属学会の魅力を伝える機会を増やすことが重要です。具体的には、若手研究者や学生が積極的に参加できるイベントの開催や、最新技術や研究成果を扱うセミナーやワークショップを充実させることが考えられます。また、**SNS**やウェブサイトを活用し、金属学会の情報発信を強化することで、若い世代にアピールできると思われます。このような取り組みを通じて、金属学会は時代の変化に対応し、新たな世代にも魅力的な学会として継続的に成長できることを期待しております。どうぞよろしくお願いいたします。

- 日本技術士会の金属部会では、**DE&I** への取組みを開始しました。 本アンケートのとりまとめをされている各位におかれましては、男女共同参画の取組みを長年されているのかと拝察いたします。 活動の内容など、ご教示いただけると幸いです。（学会誌等での活動の紹介があれば、その記事のページなどをご教示くださいませ） 私どもは、 **DE&I** と、とても広い範疇の取組みとしていますが、まずは、男女共同参画 のところが、大命題だと考えております。 私の連絡先は、下記となります。

（個人情報 は 削除）

- 育児や介護中会員の個別オンライン発表の対応。全会場は設備の関係で無理でも、個別に数人／日なら、（ノート**PC**＋マイク付きスピーカー）を持ち運ぶことで対応できるのではないのでしょうか。
- 男女共同参画委員会には、真の意味で、能力にふさわしい方が実力を発揮できる性差を超えた公平な仕組みを作っていただきたい。
- 夫婦で鉄鋼協会の会員なので、今後二人の出張が重なれば託児所を利用したいです。申込み×切が早いことを知らなかったもので、これからは気をつけようと思います
- 学会のそばで子供の存在を感じることで子育てと研究の両立を後押しされているように感じられました。とてもいい雰囲気だと思います。これからもお願いします。
- 多くの学協会と連携して活動されていることをいつも見ております。引き続き、様々な講演会等の企画を進めていただければと思います。

- 次の2点の取り組みを希望します。①大学受験にて材料系学科を目指す女子高校生を増やす取り組み。②高校の文理分けで理系を選択する女子高校生を増やす取り組み。
- 男女共同参画はどんどん進めてください。
- 男女共同参画に関する取り組みはぜひ続けていただきたいと思います。
- 過去に子供がおりましたが、そのような際の学会参加の苦労話も回答出来たらよかったのかなと思いました。
- 託児室の利用実績をどこかに掲載しておけば利用しやすいと思う。学会ホームページの男女共同参画委員会のページを見ても託児室の情報が全くない。講演大会の**Confit**のページにも記載がない。どこかには情報があるのかもしれないが、目につくところがないので、あまり本気で取り組んではいけないのではないかと感じてしまう。

- 他の学会とも連携して、良いところをお互い取り入れながらこの分野の活動を進めるのが良いと思います。現状では、学会ごとに個別の活動をしているように思えますので、大変効率が悪いと感じます。この分野の活動は、学会ごとの特徴を出すことが重要ではなく、広く連携して具体的な活動の負担を軽減したり、遅れている学会での対応を加速したりすることの方が、有益であると考えます。
- このような取組は大変良いとおもいます。今後の技術発展のためには、現役世代の活躍や次世代への取組みも必要であると思います。今後ともよろしくおねがいします。
- 高齢者の介護にも目を向けても良いかもしれません。
- 子供の数を聞くだけでなく、就学前、小学校、中学校、高校以上など、年齢区分に分けて設問を作成した方が、その後の回答結果との相関がわかって良いと思いました。